

新技術活用システム 実施要領改正のポイントと NETISプラスの展開

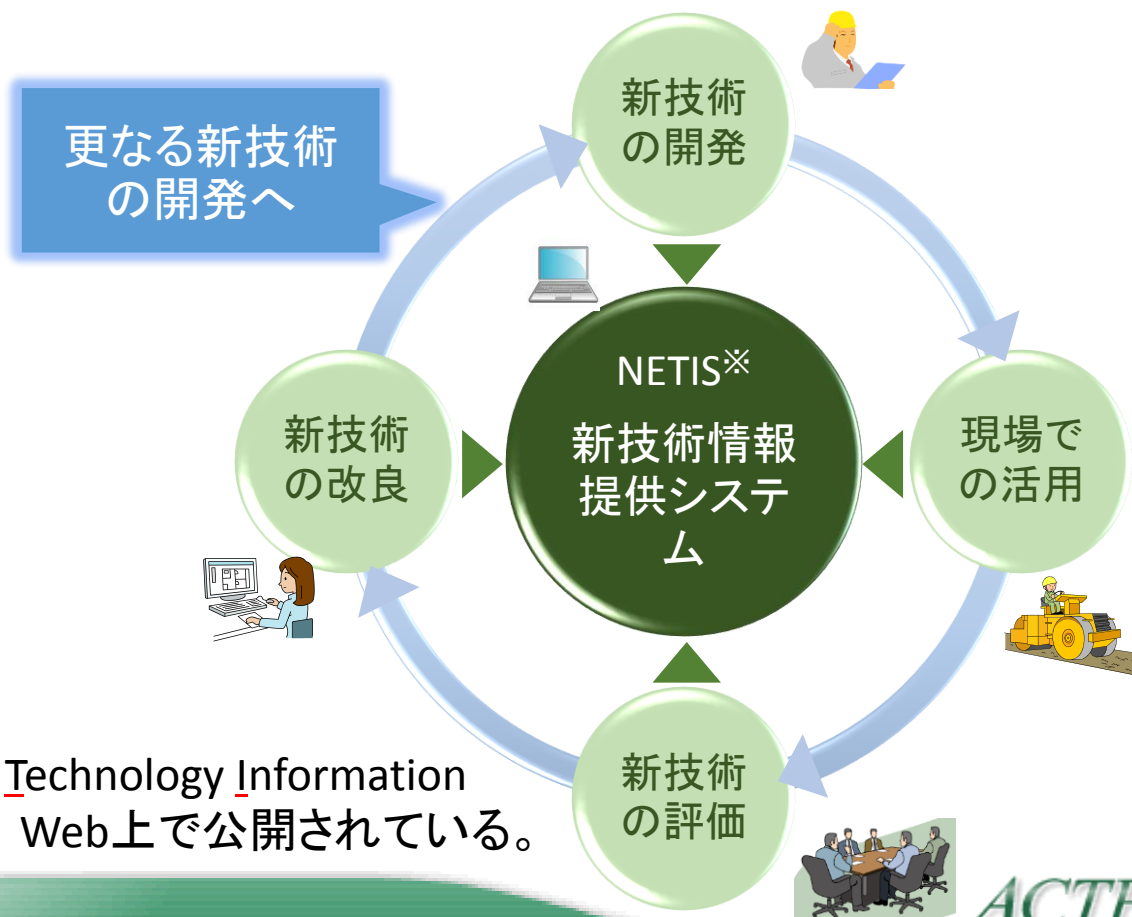
(一財) 先端建設技術センター

技術調査部 兼 企画部 兼 技術評価室 参事

石丸 慶三

I . 実施要領改正のポイント

NETISを中核とした “公共工事等における 新技術活用システム”



※NETIS: New Technology Information Systemの略 Web上で公開されている。

運用開始

平成10年度 「公共事業における新技術活用促進システム」

- (1) 新技術を現場で活用することにより、その適用性の評価等を実施
- (2) 「新技術情報システム(NETIS)」の省内運用

改 編

平成13年度

- (1) 「新技術情報システム(NETIS)」による情報の収集及び一般提供
- (2) 「新技術活用評価委員会」による適用性等評価の実施
- (3) 有用な新技術の公共事業への活用

再編・強化(試行)

平成17年度 「公共工事等における技術活用システム」

- (1) 「評価試行方式」「フィールド提供」「推奨技術選定」の設定。
- (2) 産学官連携による「新技術活用評価委員会」の拡大・強化。

再編・強化後
本格運用開始

平成18年度

本格運用

- (1) 事後評価の実施・徹底及びNETISの再構築
- (2) 新技術活用の体系化（大規模工法を試行・評価し、活用する仕組みも位置づけ）
- (3) 新技術の試行・評価から活用までの道筋の強化

平成22年度

改正

- (1) 事後評価に必要な「活用件数」を10件から5件に緩和
- (2) 掲載期限を、当面の間、5年に延期
- (3) 効果発現に一定期間を要する技術等に「追跡調査」を追加
- (4) 試行現場の照会先を発注者に加え施工者へも拡大

運用状況を
踏まえた改正

平成26年度

改正

NETIS実施要領 主な改正内容

改正事項① 新技術活用後の評価における技術特性の明確化

- ・ 評価情報(“-V”技術)を“-VE”技術、“-VR”技術に分類

改正事項② 現場ニーズに基づく技術公募による活用・評価の促進

- ・ 発注者が必要とする分野の技術を積極的に活用・評価する5つ目の活用の型 “テーマ設定型(技術公募)”の追加

改正事項③ 外部機関の活用による有用な技術の現場導入促進

- ・ 他機関等の実績に基づき、公共工事等に関する技術水準等を高めることが見込める技術を “評価促進技術”に指定

NETIS実施要領改正事項①

評価情報「-VE」「-VR」①

従来のルール

(1回目評価)

活用現場の調査表が蓄積された時点(5つの工事分)で実施

(2回目評価)

更に10工事分の調査表が蓄積された時点(3回目以降評価も同様)



公共工事等で活用効果調査



評価結果を蓄積
評価された技術は
NETIS番号

〇〇-〇〇〇〇〇〇-V

となります



民間等にて開発された新技術



登録された技術は国の公共工事等で活用される候補となります
NETIS番号

〇〇-〇〇〇〇〇〇-A

NETIS実施要領改正事項①

評価情報「-VE」「-VR」②

改正ルール

(1回目評価)

活用現場の調査表が蓄積された時点(5つの工事分)で実施

→2回目以降の調査・評価の必要性について評価会議にて判断



民間等にて開発された新技術

登録



公共工事等で活用効果調査



・比較対象や調査内容を変更した上で更なる調査・評価が必要な技術
・耐久性等の追跡調査が必要な技術等

→○○-○○○○○○○-VR

(従来同様、2回目以降の調査・評価を実施)

・安定的な効果が見込める技術等
→○○-○○○○○○○-VE

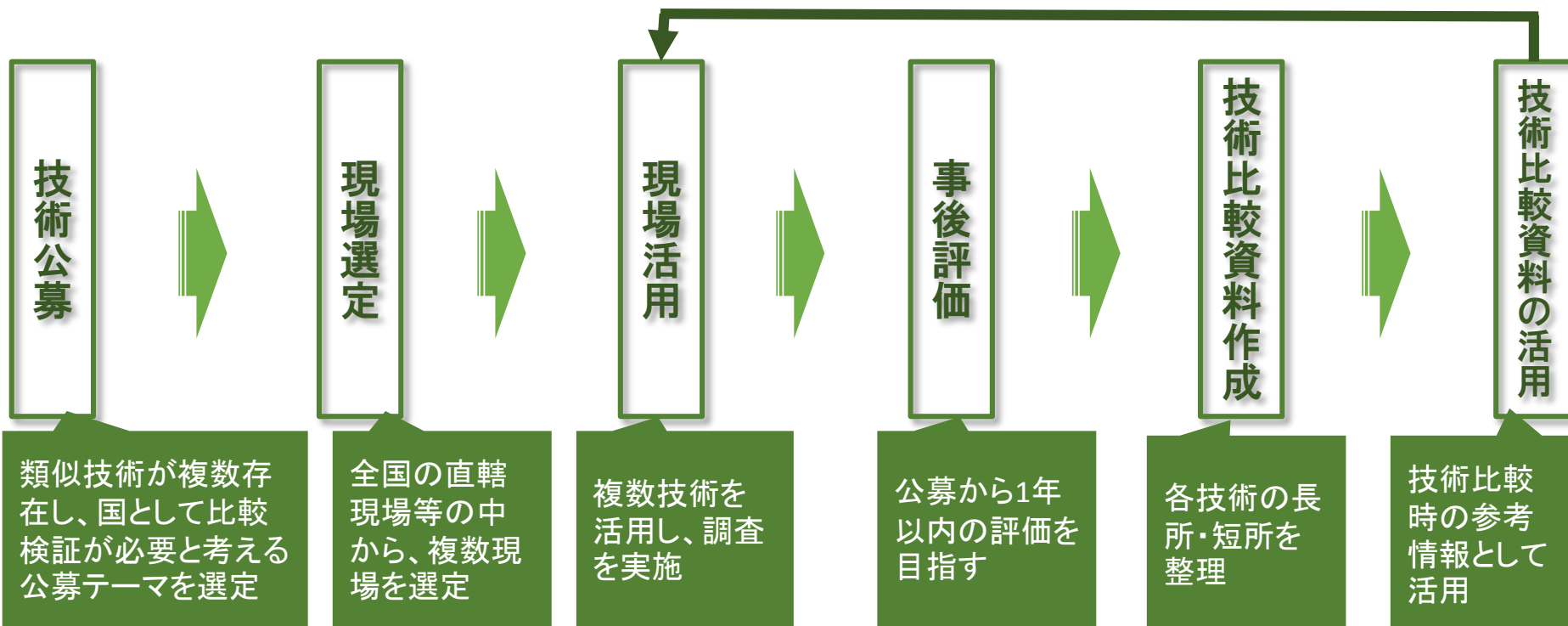
(以降の調査・評価は実施しない)



NETIS実施要領改正事項②

テーマ設定型(技術公募)の新設

課題 特定の工種・工法において複数の新技術が登録されているが、特徴(長所、短所)がわかりにくい等が要因で、現場の活用が進まない。



新技術活用システム検討会議が選定

推奨技術 (21件)

NEW!

準推奨技術 (47件)

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的な新技術

評価促進技術

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的な新技術 (もの)

他機関等の実績に基づき、公共工事等に関する技術水準等を高めることが見込める新技術。

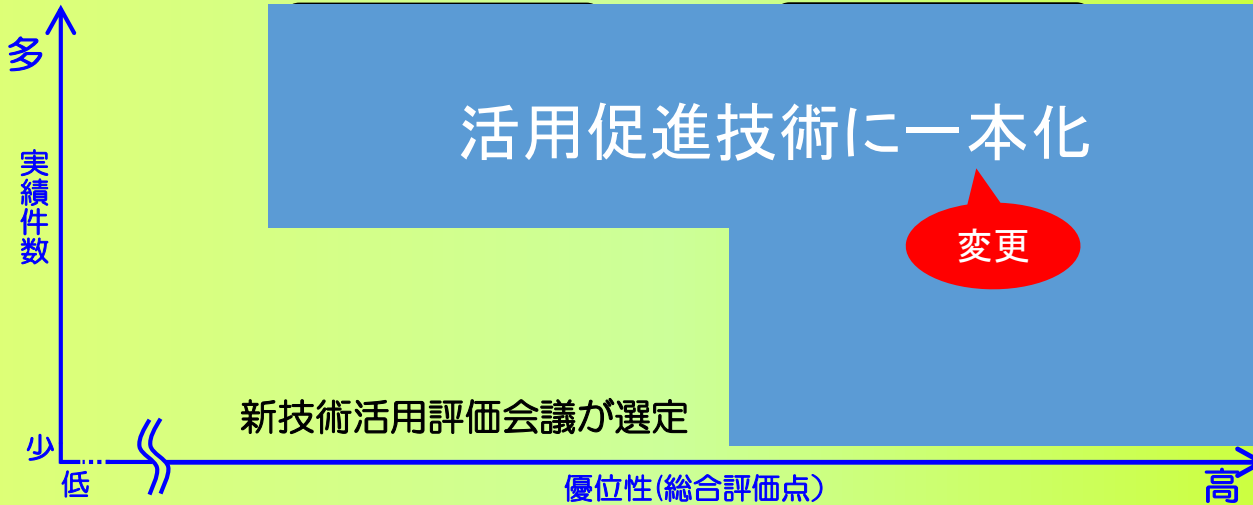
インセンティブ

有用な新技術について、

- 設計業務共通仕様書において、積極的に活用するための検討を行うことを明記
- 総合評価方式への加点 (配点は適宜決定)
- 工事成績評定への加点 (施工者希望型のみ)

活用促進技術に一本化

変更



新技術活用評価会議が選定

優位性(総合評価点)

活用効果評価を実施した技術 (約1200件)

活用・評価

新技術 (NETIS登録技術) (約4,800件)

：有用な新技術

平成26年6月13日現在

新技術活用システム最近の話題①

工事成績評定への加点

新技術の活用を提案(技術提案書、施工計画書、工事打合簿等による活用提案)すれば、
下記のように工事成績評定に加点されます。

※NETIS番号末尾記号が「-A」「-V」「-VR」の技術は、活用効果調査表を提出しないと加点されません。

- ①事後評価**実施済み**技術のうち「有用な新技術」の活用
または②事後評価**未実施**技術の活用

最大
+1.2点

- | | |
|-----------------|-------|
| ■活用の効果が相当程度 | +1.2点 |
| ■活用の効果が一定程度 | +0.8点 |
| ■活用の効果が従来技術と同程度 | +0.4点 |

最大
+0.8点

- ③事後評価**実施済み**技術(上記①「有用な新技術」を除く)の活用

- | | |
|-------------|-------|
| ■活用の効果が相当程度 | +0.8点 |
| ■活用の効果が一定程度 | +0.4点 |

新技術活用システム最近の話題②

NETIS維持管理支援サイトの公開



NETIS維持管理支援サイト
点検・維持管理に資する技術を広く情報提供することで、点検・維持管理の現場における活用を支援します。

NETIS震災復旧・復興支援サイト
震災復旧・復興に資する技術を広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援します。

NETISとは
国土交通省は、新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として、新技術情報提供システム (New Technology Information System:NETIS) を整備しました。NETISは、国土交通省のイントラネット及びインターネットで運用されるデータベースシステムです。
パンフレット: [公共工事等における新技術活用システム](#)
パンフレット: [公共工事等における新技術活用システム\(開発者、施工者、コンサルタント向け\)](#)

◎「公共工事における新技術活用システム」について、この度改定を行い、平成26年4月1日より運用しますので、関係文書を掲載します。
○公共工事等における新技術活用の促進について、平成26年3月28日
○「公共工事等における新技術活用システム」実施要領について、平成26年3月28日 **実施要領別紙**

新技術情報の登録件数他
評価情報: 1168件 申請情報: 4800件
推奨技術(10件) 準推奨技術(30件) 活用促進技術(82件) 設計比較対象技術(280件) 少実績優良技術(43件)

NETISトップページ

以下2テーマを対象に技術情報を募集
(H26.2月末～3.14)

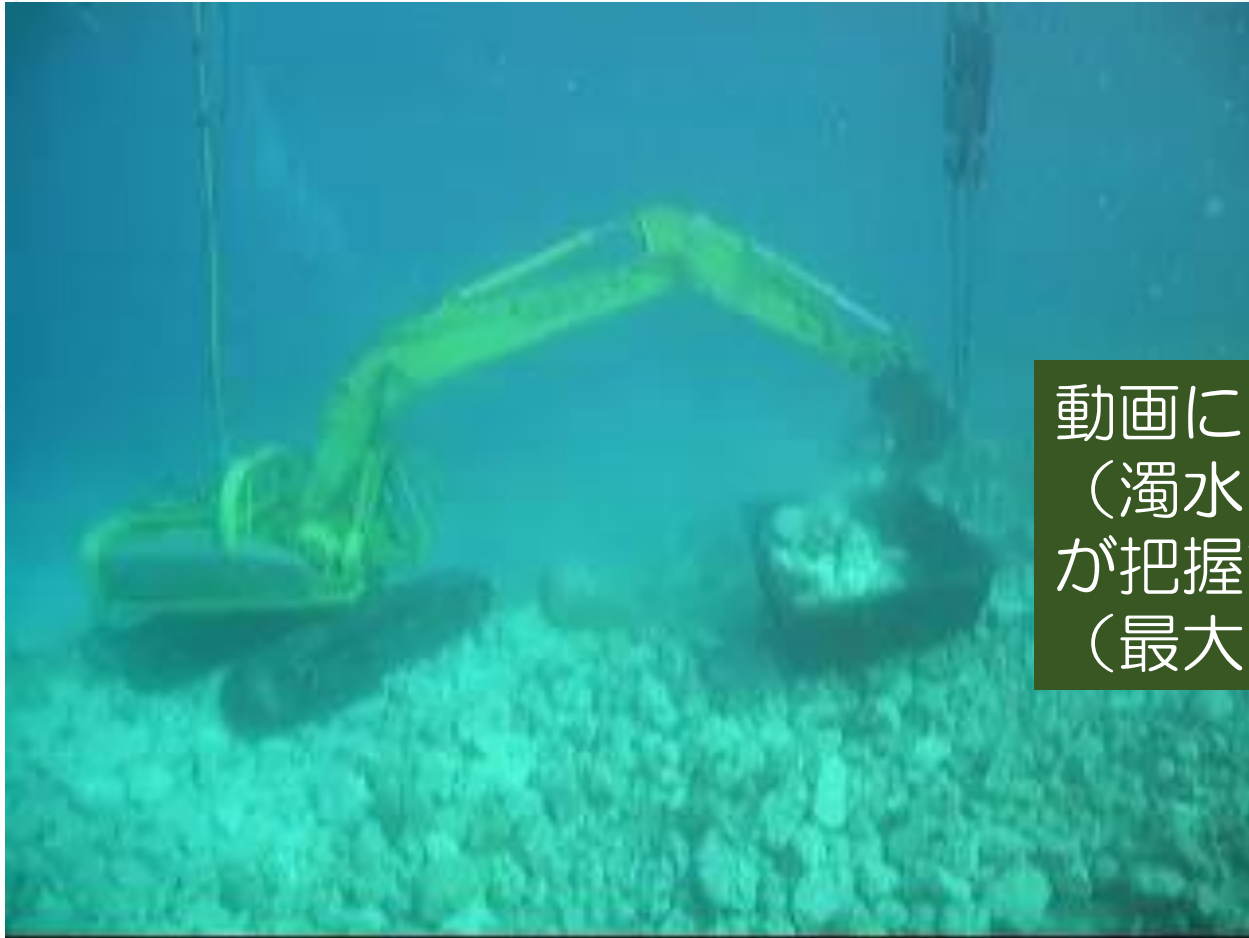
- ①点検等に資する技術
- ②診断調査結果を解析・管理・収集する技術

The screenshot shows the NETIS Maintenance Support Site interface. At the top, there's a navigation bar with links like 'ホーム', '利用上の注意', 'よくある質問', 'お問い合わせ', and 'NETIS申請書用'. The main content area features a large heading 'NETIS 維持管理支援サイト' and a sub-heading 'New Technology Information System'. Below this, there are several sections: 'お知らせ' (Notice) with a date of 03月17日 and a link to 'NETIS維持管理支援サイト登録への応募申請について'; '公募' (Public Recruitment) with dates 02月26日, 10月25日, and 10月18日, and links to '表行化対策に資する点検等技術の公募について' and '表行化対策に資する点検・診断技術の公募の技術選定結果について'; 'キーワード検索' (Keyword Search) with a search box and a '検索する' button; and 'ジャンル検索' (Genre Search) with a list of categories including 'トンネル', '橋梁', '道路附属物', etc. The footer contains copyright information: 'Copyright 2013, New Technology Information System. All Rights Reserved.'

Ⅱ. NETISプラスの展開

動画 リー

動画により騒音や粉塵（濁水）の発生状況等が把握できます。（最大10ファイル）



施工現場全景



進化を続ける



意欲ある技術開発者の
海外展開支援

2012年9月

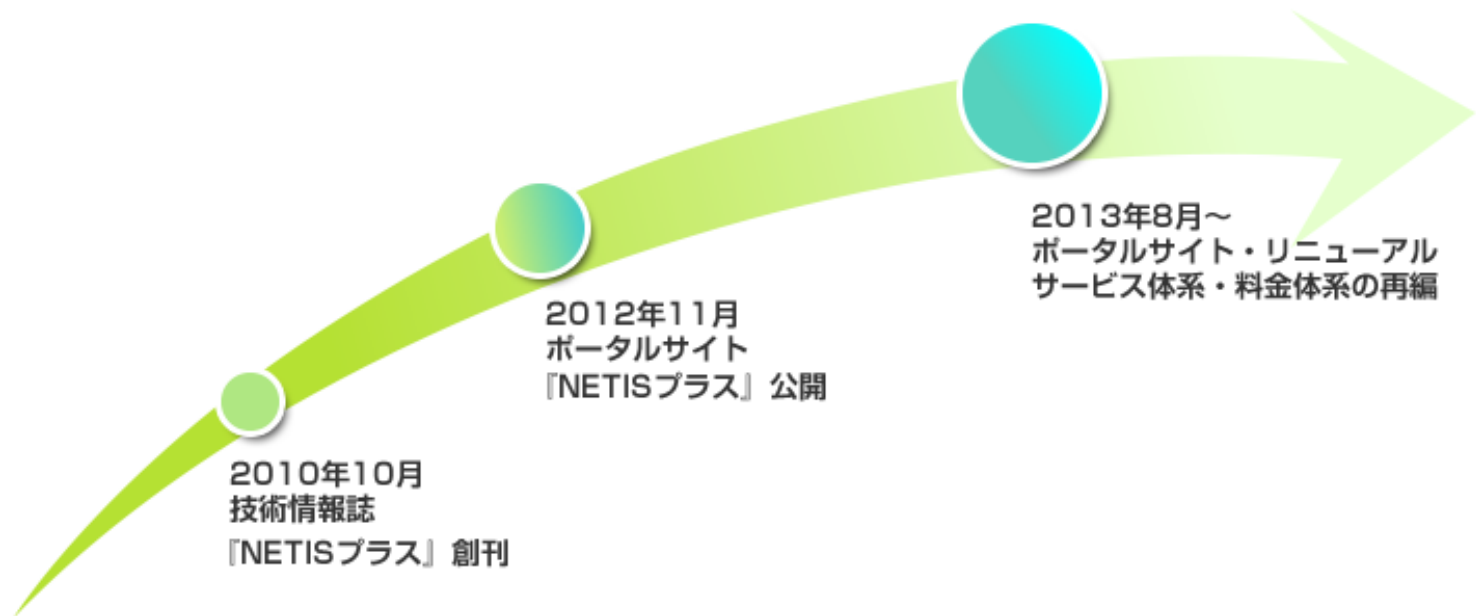
NETISプラスにて、タイの発
注者、大学を対象に新技術
セミナー、デモンストレーション
を実施



進化を続ける



閲覧者・技術開発者・国土交通省の意見を反映させながら機能強化・ユーザビリティの向上を図っています。



Thank you for your attention.

